

## はじめに

この報告書は、重点領域研究「総合的地域研究」の公募研究班「アジアの農村における“開発”の導入と農民の対応」が主催した研究会の記録である。ここでは、オリエンタリズムと第三世界の開発を検討し、広い視野から開発現象と経済、政治、社会、文化の相互連関／相互浸透を、歴史的・空間的な広がりの中で議論することができた。

研究会は1994年11月23日に京大会館で開かれ、三十数名の方々に参加して頂くことができた。当日は、ご多忙のなかを4名の方に報告して頂き、それに対して2名の方からコメントを頂くことができた。熱心な討論を繰り広げて下さった参加者の皆様に御礼申し上げたい。

なお、本報告書の編集は足立が担当したが、記録の不備などから発言の一部は割愛したことをお断りしておきたい。また研究会の記録およびテープ起こしには、石井美保、宗像良恵、レズリ・ルカテロ、八木治樹の各氏から協力を得た。記して感謝を申し上げたい。

公募研究班代表  
足立 明